

職場体験 感想文コンクール2025

タイトル	働くことで	事務局	123
学校名	酒田市立第三中学校	氏名	深松 百香

なぜ大人たちは働くのか。「お金を稼いで生活するため」、「自分を成長させるため」、「他人と関わる」、「誇りがあるから」理由は人の数だけあるだろう。今回、職業体験という機会を経て「働くこと」について考えた。

今回の職業体験で心に残った体験が2つある。1つ目は、「正覚会」での体験だ。高齢者の手の感覚や視力の変化による物の見え方の違いなど、道具を使ったりして実際に体験した。また、職員の方のお話を聞く中で心に残ったものがある。「この仕事はたくさん感謝されます。感謝されるとうれしいし、やりがいを感じます。」と教えてもらった。正直、私はこれまで介護という仕事に「与える」だけで与えた分のお返しがあるわけではないのに」と考えてしまうことがあった。だが、お話を聞く中で、「与える」という行為に変わりはなくとも、「与えたことで感謝される」ことがお返しなのだと思うようになった。

2つ目は、「庄内ヤクルト販売」での体験だ。ヤクルトの商品の紹介や働く人についてなど、たくさんのお話を聞くことができた。庄内ヤクルト販売のモットーは「庄内に暮らす人たちの健康を守る」とことと聞いた。ただ、誰でも「こうしたい」と言うのは簡単だ。私が企業の努力ですごいと感じたのは、その目標を達成するため、働く人の「働きたい」「こうしたい」という意欲を高めているということだ。

世の中には、「人間関係がそれほどよくななくても給料がいいから、働きやすくないけれど…」と言いながら働く人も少なくないだろう。私個人としては「働きやすさ」や「人間

関係のよさ」で働くところを決めたいとは思っている。

庄内ヤクルト販売では、「商品が売ればいい」のではなく、「働く人の意欲が高まる」＝「庄内の人の健康を守る」というモットーに繋がるという意識を大切にしていると知ることができた。会社としてお客さんの願いを叶えることはもちろん、その願いを叶えるには、まず会社で働く人の願いを叶えたり意欲を高めることが働きやすさに繋がるのではないかと私は考えた。

職業体験を通じて私が考えた「働くこと」とは、「自分が与えた“ありがとう”が巡り巡って自分に返ってくること」だと思う。もし、自分としては仕事の中の1つでなんとも思わずに仕事をしていたとしてもきっと誰かが「ありがとう」と思ってくれたり、それを「してもらった分を自分も」と与えた分が自分の身に返ってくる。それが「やりがい」と同義なのだと思う。感謝されるために働くことが全てではないが、誰もがきっと「ありがとう」というやりがいを求めているのだと感じた。